G-50c

機械式時計
取扱説明書・保証書

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本製品を末永く御愛用頂ける様に、この取扱説明書をよく読んで
正しくお使いくださいますよう、お願い申し上げます。
なお、この説明書はお手元に保管して必要に応じてご覧ください。

本書は機械式時計の説明書です。
お買い上げいただいた時計の種類に該当する説明を探し、
時報などを参考に時間を合わせてご使用してください。

■自動巻時計について

自動巻時計は、腕を振る動きなどで時計内部のローター（回転錘）がゼンマイを巻き上げます。そのため、基本的には手でゼンマイを巻かなくても作動します。また、ほとんどのモデルは手でリューズを回してゼンマイを巻くこともできます。（手巻機能が無いモデルもあります）
止まっている時計をお使いになるときは、「ゼンマイの巻き方」をよく読んでリューズを回すか時計を軽く振って始動させてください。
※手巻機能が無い場合は時計を軽く振ってください。

■手巻時計について

手巻時計はゼンマイがほどける力を利用して動きます。リューズでゼンマイを巻き上げることから手巻式と呼ばれます。ゼンマイは毎日巻く必要がありますが、強く巻きすぎるとゼンマイが切れてしまう事があります。
止まっている時計をお使いになるときは、「ゼンマイの巻き方」をよく読んで、リューズを回して始動させてください。

■製品仕様

精度（日差）	駆動時間（最大に巻き上げた状態）	ハック機能（※）	駆動方式
±４０～４５秒	約２４～４８時間	なし	自動巻き（手巻機能付き）

※モデルによって駆動時間は上記範囲内で変わります。
※各モデルの仕様については弊社ホームページをご確認下さい。

各時計の精度及び駆動時間は、ご使用状況(時計の置き方、向き・温度等)により個体差があります。この表は目安としてご利用ください。
（※）ハック機能：リューズを引いた時に秒針が停止する機能

■製品について

- 秒針付きモデルの場合、製造精度上秒針が文字盤の目盛りと合わない場所がありますが、時計の性能への影響はありません。
  ・リューズの位置は、腕時計や懐中時計等、モデルにより異なりますが、操作方法は同一です（**ねじ込み式リューズをのぞく**）。針や日付など　表示の種類が当てはまる項目を参照して、そのモデルのリューズを使って操作を行ってください。
- 機械時計の性質上、仕様方法・温度・ゼンマイの巻き上げ量等、ご使用条件によっては、記載した精度の範囲を超える場合があります。
- 精度は一定では無く、毎日微妙に変化します。実際に使用したときの時計の進み・遅れは１日で判断せず、１週間の平均から判断します。
- 全ての図は説明用で、実際の状態を表したものではありません。デザインや数字の表示スタイルなどが実際の製品とは異なりますので、あらかじめご了承願います。

■フタ付懐中時計の開閉方法

フタ付懐中時計で時間を見る時には、リューズの上部を押して蓋を開けてください。

開いたフタに無理な力を掛けないでください。
破損の原因になります。

両面蓋付懐中時計のフタは二段階になっています。リューズの上部を軽く押すと正面のふたが開き、更に押込むと裏面のフタが開く様になっていますが、強く押すと両方同時に開く事があります。両面のフタを開け置時計としても使えます。
※フタを閉める時はカチッと音がするまで押して戻してください。

■リューズ位置例 ※例以外に位置する場合もあります

腕時計等		懐中時計等
横位置	斜め位置	縦位置

ねじ込み式リューズの場合は、下記の手順でリューズを回しロックを解除してから操作してください。また、時間を合わせた後は確実にリューズをロックしてからお使いください。

①リューズが飛び出るまでリューズを反時計回りに回して、ロックを解除します。（解除）

②時刻合わせが終了したら、時計回りにリューズを**押し付けながら回して**ロックします。（ロック）

■ゼンマイの巻き方

- リューズは右回転方向にゆっくりと回してください。巻く時の感触が重くなってきて、これ以上巻けないという状態になったら、ゼンマイが完全に巻き上がっています。約２５回転で巻き上げる事ができます。

⚠ 注意 **巻き過ぎるとゼンマイが切れてしまうのでご注意ください。巻き過ぎによるゼンマイの破損は保証対象外となります。**

巻き上げ（右回し）
ゼンマイはリューズを完全に押し込んだ状態で巻いて下さい。
戻す（左回し）

- ゼンマイは毎日１回だけ決まった時間に巻き上げる様にしてください。
  ※一日に何度も巻くと、時計の寿命を縮める事になります。
- ゼンマイを巻く時は、必ず完全に巻き上げて下さい。途中で巻き上げを止めるとスプリングにクセが付き、そこから破損する事があります。

ゼンマイ巻き上げ防止機能について

- 以下のモデルは、巻き上げ防止機能によりゼンマイの巻上げ完了後もリューズを回すことができるので、ゼンマイは切れません。

対象：BT-AM３９２、BT-AM３９３

■２４時間表示時計について

- ２４時間針は１２時間針と連動していて単独では動かせません。時刻合わせは２４時間針が正しく表示されるよう気を付けて行なってください。

■２４時間針の拡大図

■時間の合わせ方

- お買い上げの時計の種類に合った説明をご覧ください。
- 時刻合わせは、時報等を参照しながら行なってください。リューズを完全に引き出しても秒針が止まらない場合は、秒針停止装置がついておりませんので、秒単位の時刻合わせはできません。

■日付設定時のお願い

- 本時計の時刻が、**午後９時 ～ 午前６時頃の間には日付合わせをしないで下さい。**この時間帯で日付を合わせると機械の故障につながります。
- 日付は２４時間に一度変わるように設計されています。午前／午後を間違えない様に注意してください。

※3/1、5/1、7/1、10/1、12/1には日付が合わなくなりますので、日付合わせをしてください。

２針時計

①リューズを２の位置まで引き出します。

②リューズを回して針を合わせます。
まず、正しい時刻より４～５分針を進め、つぎに針を戻して正しい時刻にします。

③時報と同時にリューズを押込み１の位置に戻します。

※ねじ込み式リューズの場合は、p．５「ねじ込み式リューズの場合～」を参照してください。

３針時計

①リューズを２の位置まで引き出します。秒針が止まるモデルの場合は、秒針を１２時の位置に止めます。

通常秒針　小秒針

②リューズを回して針を合わせます。
まず、正しい時刻より４～５分針を進め、つぎに針を戻して正しい時刻にします。

③時報と同時にリューズを押込み１の位置に戻します。

※ねじ込み式リューズの場合は、p．５「ねじ込み式リューズの場合は～」を参照してください。

３針日付表示時計

※日付、曜日日付付き時計については、午後９時 ～ 午前６時頃の間には日付合わせをしないで下さい。詳しくはｐ．８の「日付設定時のお願い」をご参照ください。

①リューズを２の位置まで引き出します。
この位置では日付が動きます。

②リューズを回して正確な日付の、前日の日付を表示させます。その後リューズを３の位置まで引き出します。秒針が止まるモデルの場合は、秒針は１２時の位置に止めます。

③リューズを回し日付が変わるまで針を進めます。
午前の場合はそのままにします。なお、午後の場合は時針が一度１２時を超えるまで針を進めます。正しい時刻より４～５分針を進めます。
つぎに、針を戻して正しい時刻にします。

④時報と同時にリューズを押込み１の位置に戻します。

※ねじ込み式リューズの場合は、p．５「ねじ込み式リューズの場合は～」を参照してください。

３針日付/曜日表示時計

①リューズを２の位置まで引き出します。
（秒針は動いています）
この位置では日付が動きます。

②リューズを回して正確な日付の、前日の日付と曜日を表示させます。その後リューズを３の位置まで引き出します。（秒針が止まります）
秒針が止まるモデルの場合は、秒針は１２時の位置に止めます。

③リューズを回し日付が変わるまで針を進めます。
午前の場合はそのままにします。午後の場合は、時針が一度１２時を超えるまで針を進めます。
正しい時刻より４～５分針を進めます。
つぎに、針を戻して正しい時刻にします。

④時報と同時にリューズを押込み１の位置に戻します。

※ねじ込み式リューズの場合は、p．５「ねじ込み式リューズの場合は～」を参照してください。

３針日付/曜日表示時計（ボタン式）

図のようにリューズの上下にボタンがついている製品については、以下の方法で設定してください。

曜日設定用ボタン
日付設定用ボタン

①リューズを２の位置まで引き出します。
（秒針は動いています）

②日付が変わるまでリューズを回した後、午前６時３０分にセットします。

つぎに、ボタンA（曜日）とB（日付）を押して、設定する日付と曜日を表示させます。

※９時位置の窓が曜日表示窓、３時位置の窓が日付表示窓です。

③リューズを回して、正しい時刻より４～５分針を進め、つぎに針を戻して正しい時刻にします。
最後にリューズを１の位置に戻します。

④時報と同時にリューズを押込み１の位置に戻します。

※ねじ込み式リューズの場合は、p．５「ねじ込み式リューズの場合は～」を参照してください。

■サン アンド ムーン表示時計の使用方法

昼の時間帯（太陽）	■拡大図	夜の時間帯（月）	■拡大図

サン アンド ムーンは時刻と連動していて単独では動かせません。時刻合わせは昼（太陽の表示）と夜（月の表示）が正しく表示される様に設定して下さい。

■安全上の注意

ご使用になられる方や他の方への危害及び財産の損害を未然に防ぐため、下の表示で区分されている内容については、十分ご確認の上必ずお守りください。

⚠ 警告　この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をした時に「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意　この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をした時に「人的傷害または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

防水性能表	非防水	日常生活用防水		日常生活用強化防水	
気圧	—	3	5	10	20
洗顔や雨など、一時的にかかる水滴	×	○	○	○	○
家庭の水仕事や雨など	×	×	○	○	○
水泳や水仕事など、長時間水にふれる場合	×	×	×	○	○
空気ボンベを使用しないスキンダイビング	×	×	×	×	○
空気ボンベを使用する本格的なダイビング	×	×	×	×	×
濡れた状態での、ボタンやリューズの操作	×	×	×	×	×
シャワーや入浴などの温水での使用	×	×	×	×	×

※気圧の数値は、ケースの裏や文字盤に、下記のように表記されています。
（記載がないものが、非防水の時計です。）
※防水性能にはバンドは含まれません。

気圧を表す表記例
•WATER RESISTANT
•WATER RESIST
•WR •BAR

■防水性 ⚠ 注意

○非防水・日常生活用防水（３・５気圧）の時計は、水の中に入れてしまう様な環境での使用はできません。
○日常生活用強化防水（１０～２０気圧）の時計は、飽和潜水／空気潜水には使用できません。
○防水構造の時計でもシャワーや入浴等の温水では使用しないでください。
○リューズは常に完全に押込んだ状態（通常位置）でご使用ください。
○水分がついたままでリューズやボタン操作をしないでください。内部に水分が入る事があります。
○非防水時計については一時的にかかる水滴や汗にご注意ください。
○防水構造の時計でも勢いのある水を直接あてる事は、防水不良や故障の原因となる為避けてください。
○日常生活用強化防水時計（１０～２０気圧防水）の場合、海水がついた後は、真水で良く洗い落とし、水分を拭き取ってください。
○時計内部には多少の湿気があるため、ガラス面がくもる事があります。くもりが長時間消えなかったり、時計内部に水分が入った場合は、放置せずお買上げ店にご相談ください。

■水銀・化学薬品・ガスなど ⚠ 注意

○水銀・化学薬品（シンナー・ガソリン・各種溶剤・またはそれらを含むクリーナー・接着剤・塗料・薬品・香水・化粧品類）・ガスなどが触れると、ケース・バンド・文字盤の変色、樹脂部品では変色・変形破損する場合がありますので、充分ご注意ください。

■その他 ⚠ 注意

○懐中やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによってお客様の大切な衣類や身体を傷つける可能性がありますので充分にご注意ください。
○転倒時や他人との接触などにおいて、時計が原因で思わぬケガを負う可能性がありますので、充分にご注意ください。
○特に乳幼児を抱いたりする時には、時計に触れる事で思わぬケガを負ったりアレルギーによるかぶれをおこしたりする場合がありますので充分にご注意ください。

⚠ 注意

かぶれやアレルギー	○バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。また、かぶれやすい体質の方は、体調により皮膚にかゆみやかぶれをきたす事がありますので、ご注意ください。かぶれの原因は、金属・皮革のアレルギーや、時計本体やバンドに発生した、サビ・汚れ・汗などが考えられますのでご注意ください。万が一、肌などに異常が生じた場合は直ちに使用を中止して、医師にご相談ください。
ケースやバンドのお手入れ	ケースやバンドは直接肌に接しているので、衣服の汚れや肌がかぶれるのを防ぐため、汚れや水分を柔らかい布でふき取り、こまめなお手入れをし常に清潔にしてください。汗をかきやすい季節は、バンドを少しゆるめ通気性を上げてお使いください。
軟質プラスチックバンド	○ご使用状況・環境により異なりますが、ベルトの耐用期間は約１年です。 ○化学製品なので、溶剤等によって変質する事があります。 ○汚れがひどくなると衣服を汚したり皮膚に障害を起こす場合があるため、時々石鹸水で洗ってください。

⚠ 注意

メッキパーツ	金属バンドやその他金属・プラスチック部分には、メッキを施した製品があります。使用後に手入れをせずに使い続けると、メッキの腐食やハガレの原因となり、衣服を汚したり皮膚がかぶれたりする可能性もあります。
銀製品	銀または銀メッキ製品の場合、酸化して表面が変色する事があります。その場合は、市販の銀製品用クロスなどを使ってお手入れしてください。
金製品	金は柔らかい材質です。ぶつけたり、落としたりすると変形や破損しやすいので、ケースやバンドが金製品の場合、取り扱いにはご注意ください。
革バンド	水分・汗・汚れなどは大敵です。時計をはずした後は、柔らかい吸湿性の良い布でふき取り風通しの良い場所に置いて良く乾かしてください。※水洗いはできません。

■磁気・衝撃・温度など

磁気
磁石など、磁力のある物に近付けないでください。
- 磁石付き健康機具、冷蔵庫のマグネットドア、電動マージャン台、電気溶接器、携帯電話のスピーカー部分などの強い磁界を発生する器具には近付けないでください。
- 磁気の影響を受けると磁気を帯び進み遅れが生じます。
  磁気を帯びた場合は［磁気抜き］が必要になります。
  詳しくはアフターサービスへお問合せください。

携帯電話と一緒に保管をしないでください。
携帯電話はスピーカー等に強い磁気があります。磁気に影響を受けたり、時計自体が磁化されると、止まってしまう・遅れる・動いたり、止まったりするといった症状が出ます。一緒にバッグに入れたりなさらないよう、ご注意ください。
※工場など大型モーターの近くでのご使用は避けてください。

衝撃
軽スポーツによる影響はありません。
- 床に落とす、ぶつける等の激しいショックを与えないでください。ガラスが割れたり、故障の原因になります。

振動
乗り物等の軽い振動による影響はありません。
- オートバイなどで強い振動が加えられた場合に、一時的に遅れる事があります。

温度
３５℃をこえる場所での精度は保証できません。
- 直射日光が長時間あたったり、高温になる所に置かないでください。

５℃に満たない場所での精度は保証できません。
- 寒い所に長時間置かないでください。

※温度の影響で多少の進み遅れが生じる事がありますが、常温に戻れば元の精度に戻ります。
※極端な高温・低温の場所に放置すると、時計が止まるなど、様々な故障の原因となる事がありますのでご注意ください。

■定期点検について

○長くお使い頂ける様に、電池交換及び２～３年に一度の点検をおすすめ致します。お買い上げ店または取扱い店で、保油状態・液漏れの有無・汗や水分侵入の有無などの点検（有償）をしてもらってください。
点検の結果によっては、分解掃除を必要とする場合もあります。
○点検時にパッキンやバネ棒などの交換もご依頼頂くと、さらに安心してお使い頂けます。また、部品交換の時は［純正部品］とご指定ください。

■夜光について

○時計の夜光には蓄光性塗料を使用しております。
この塗料は性質上時間の経過とともに輝度が弱まります。

保証規定

保証書及び本保証規定に記載した内容によりこの時計を保証致します。

- ■ **本保証書は日本国内においてのみ有効です。**
- ■ **保証期間中、正常なご使用状態において、万一故障が発生した場合は、本保証規定によりお買い上げの日より１年間無償で修理・調整させて頂きます。本保証書と現品をお買い上げ店にご呈示ください。**
- ■ **保証期間中であっても、下記の場合には有償となりますのでご了承ください。**
  ①誤ったご使用またはお取扱い上の不注意による故障。
  ②火災・水害・地震、その他の天災地変による故障。
  ③分解による故障・不具合
  ④ご使用中に生じた外装・外観上の変化
  ※ケース・ガラス・リューズ・バンドのキズ、色落ちなど
  ⑤保証書のご呈示がない場合、あるいは保証書にお買い上げ店名・捺印・お買い上げ年月日の記入が無いなど、記入事項に不備がある場合。

- ■ **保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。**
- ■ **修理の時、ケース・文字盤・針・ガラス・リューズ・バンドなど、パーツについては、一部代替部品を使用する場合がございますので御了承ください。**
- ■ **時計本体以外のパーツ(チェーン・ストラップ・ＢＯＸなど)は保証の対象外となりますのでご了承ください。**
- ■ **最初に入っているモニター用電池、バンドの損耗、電池切れによる電池交換などは保証の対象外となります。お買上げ後、電池が切れた際には時計専門店・アフターサービスなどに電池交換（有償）をご依頼ください。**

□ **ご記入頂いたお客様の情報は、保証期間内のアフターサービス、及びその後の品質向上の為に利用させて頂く場合がございますので、ご了承願います。**

□ **この保証書により保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。**

アフターサービスについて

保証期間中のアフターサービスについては、保証規定をご確認の上お買上げ店にご相談ください。保証期間経過後の修理については、お買上げ店またはお近くの取扱店にご相談ください。保証期間中は原則的に修理が可能ですが、保有パーツの在庫が無くなった場合など、修理をお断りさせて頂くこともございますのでご了承願います。
修理の時、部品・その他すべての付属品は、一部代替部品を使用させていただく事もありますのでご了承ください。
実際に修理が可能かどうかは、ご使用の状態により異なり、時計精度などは元通りにならない場合もあります。
保証期間外もしくは保証の対象とならない修理の際は、本体の修理代金の他にお買い上げ店と修理工場との間の往復運賃・諸掛り費用をお客様にてご負担願います。
修理内容によっては修理代が標準小売価格を上回る事もございますので、修理依頼の際には取扱店様とよくご相談の上ご依頼ください。

無効無効無効無効無効

保証書

製品型番

お買い上げ日

お客様氏名（ふりがな）

お客様住所

ご連絡先電話番号

販売店印

※保証期間はお買い上げ日より１年間です。

https://www.hodogayadenshi.jp/

発売元　保土ヶ谷電子販売株式会社

アフターサービス　〒252-0134
神奈川県相模原市緑区下九沢1638-1

お客様専用ダイヤル
042-703-1785
平日10：00～12：00・13：00～17：00
(土日祝日を除く)